

ディプロマポリシー			カリキュラムポリシー		
項目	詳細	卒業時に学生が修得すべき資質、能力	目的	項目	詳細
DP1 「自由・自立の精神」	薬学を学ぶ者として自己の目標を設定し、常に自己を評価検証できる。そして、生命・医療倫理に則って行動し、専門的能力を役立てることができる。さらに、生涯学習により常に自己研鑽を図ることができる。	dp1 自己の目標を設定して、主体的に学習できる。	「自由・自立の精神」を堅持するために	CP1 自己研鑽・主体的な学びに基づく学習技法	設定した目標の達成に向けて、継続的に自己を評価・検証しつつ、生涯学習を含む主体的な学修を可能とする教育課程を編成し、提供する。
		dp2 生命・医療倫理を理解し、適切に行動できる。		CP2 社会規範・規則・倫理性の涵養	専門職業人として自立するために、特に薬学出身者に求められる医療倫理、研究倫理に関する教育を行うとともに、教育課程全般の修学にわたり、社会の規範やルールを尊重する姿勢も涵養する。
		dp3 到達目標を定め、知識・技能を駆使し目標を達成できる。		CP3 主体的な研究活動に基づく学習技法	自由な発想と探究心を刺激する魅力あるテーマを提供し、主体的に研究を進める体制を整える。
DP2 「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」	薬学の社会的、文化的な位置づけを理解する。そして、基本的人権を擁護し、社会正義を実現するための義務と権利を適正に行使しつつ、世界全体を視野に入れながら持続可能でインクルーシブな地域社会の発展に寄与できる。 自己の国際経験を生かし、広い視野から社会に貢献することができる。	dp4 薬学の社会的、文化的な位置づけを説明できる。	「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために	CP4 多様な社会における薬学的視座の獲得	幅広い視野の醸成、批判的精神の涵養、豊かな教養に裏打ちされた全人的な人間性の陶冶を目的とする普遍教育を提供するとともに、薬学導入教育を充実し、それらを基盤とした薬学専門領域を修得する意義を理解できる学修機会を提供する。
		dp5 地球規模の多様な視座を身につける。		CP5 地球規模の課題解決能力を涵養する社会的な学び	地球規模の課題を解決する能力を涵養するために、多様な留学の機会を提供する。
		dp6 各種環境に適した方法で学習した上で自己の専門能力を実践できる。		CP6 地球規模的な視点で学習するための学習基盤の修得	諸課題が地球規模となる時代に対応した学修環境を整備し、場所や時間に囚われず学内外で継続的な学修を促進するための情報通信技術を活用した学修基盤を提供する。
DP3 「普遍的な教養」	多様な文化・価値観に関心を持ち、理解を深める。また、世界的視点から、自然、環境、社会について深く理解し、異分野統合的な知を備え、人類や社会が直面する課題についての主体的な認識と判断力をもって取り組むことができる。 医療の概況を薬学の視点から総合的に理解し、問題点や社会的要請を的確に判断できる。	dp7 薬学以外の多様な知識を理解している。	「普遍的な教養」を涵養するために	CP7 多様な文化、価値観、社会、自然、環境や地球規模の課題に対する理解	国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境を深く理解し、異分野統合的な知を備え、人類や社会が直面する課題に取り組むための英語科目を含む普通教育科目を体系的に提供する。
		dp8 薬学的視点から見た医療の概況をわかりやすく説明できる。		CP8 薬学に対する社会的要請の俯瞰的な理解	医療の現状や問題点、医療人に対する社会的要請を総合的に理解するための基礎薬学、臨床薬学に関する教育科目を提供する。
DP4 「専門的な知識・技術・技能」	先導的・指導的薬剤師を目指して、薬学及び関連する分野の実践的能力を体系的に修得し、問題の発見とその解決策を提示できる。 薬剤師免許をもった創薬科学や生命科学の教育研究者を目指して、専門領域に関する実践的能力を体系的に修得し、問題の発見とその解決策を提示できる。 薬学に関する問題や自然や社会的現象、科学的事象に対しては、情報や知識をもとに実証的かつ多面的な視点から論理的にその本質を分析し、その過程で得られた結果を社会還元できる。	dp9 薬学の知識・技術・技能を体系的に理解している。	「専門的な知識・技術・技能」を修得するために	CP9 総合的な応用科学である薬学の知識・技術・技能に対する体系的な理解	生命や健康について化学的、生物学的さらに物理化学的に研究する総合的な応用科学である薬学及びその関連知識を基礎から応用まで体系的に修得できる教育課程を編成し、提供する。
		dp10 医療現場で必要な実践的能力を身につける。		CP10 チーム医療の中で職能を発揮できる諸領域の知識の活用	薬剤師の資格と研究能力をいかに、チーム医療の中で職能を発揮できる指導的な立場の薬剤師となるために必要な知識、論理的思考や表現の手段を、学生が主体的に活用できる実践的な学修の機会を効果的に提供する。
		dp11 医療現場以外の薬剤師資格を必要とする社会で必要な実践的能力を身につける。		CP11 教育、研究、開発で職能を発揮できる諸領域の知識の活用	薬剤師の資格と研究能力をいかに、薬学の教育、研究、医薬品開発を担う人材となるために必要な知識、論理的思考や表現の手段を、学生が主体的に活用できる実践的な学修の機会を効果的に提供する。
		dp12 薬学に関連する問題や現象を分析した内容を社会に向けて発表できる。		CP12 専門的な知識・技術・技能に基づくイノベーション創出への取組	専門領域に関して体系的に修得した知識・技術・技能をもとに社会に貢献し、社会を牽引するイノベーション創出のための教育環境づくりを進める。
DP5 「高い問題解決能力」	情報処理技術を活用して問題解決に関わる情報を収集し、これを取捨選択、整理、分析することから問題の本質を解明できる。 自らの知識・技術・技能を基盤に置き、これに社会要求や知的財産権などの様々な要素を総合的に判断して問題の解決策を提示できる。 他者との意思疎通能力や自己表現能力を有し、他者との協調、協働や主体的学修を通して問題の解決に取り組み、解決の方向性を提案できる。	dp13 薬学分野に必要なコミュニケーション能力を身につける。	「高い問題解決能力」を育成するために	CP13 専門分野におけるコミュニケーション能力の向上	専門分野における高い問題解決能力を涵養するために、コミュニケーションを学修する機会を提供する。
		dp14 薬学分野に必要な情報処理能力を身につける。		CP14 情報収集・情報処理・情報発信能力の涵養	情報処理技術の活用も含め、必要な情報やデータを自ら収集・分析・活用する方法を修得し、情報を適切に発信することのできる教育学修の機会を提供する。
		dp15 チームでの問題解決方法を身につける。		CP15 コミュニケーション能力・責任感・協調性の涵養	学生がグループを単位として、専門領域での問題解決に主体的・積極的に取り組む学修の機会を提供する。
		dp16 薬学分野の問題を自ら見つけ、目標を設定して解決できる。		CP16 社会的要請に具体的に取組むことができる知識・技術・方法の修得	専門領域での問題に関して、社会の要求を踏まえた問題解決を自ら実践できる学修の機会を提供する。